

12月末の人口	
世帯数	626
男	826 人
女	814 人
計	1,640 人
(馬路 1,123人)	
(魚梁瀬 517人)	

広報 うまじ

昭和60年1月16日発行
第二一号
編集 馬路村教育委員会
印刷 安芸印刷



"あとで"より"いま"が大切 火の始末

最近の火災原因をみてみますと毎年のように、タバコの投げ捨て、たき火の後始末、火遊びなどの不注意による火災が上位を占めており、みなさまの注意一つで、火災のほとんどはなくなると思われます。

隣近所で注意しあって、火災をなくしましょう。

中芸消防署では、防火パレードや防火宣伝用のロボットなどで注意を呼びかけるとともに、婦人防火クラブを育成し、消火器の普及、防火教室などを計画し、家庭から火災をなくすよう考えておりますので、みなさまがたのご協力をお願いします。



今月のスポット

12 月

- 12日 総務常任委員会(就改センター)
- 13日 産業建設常任委員会(就改センター)
- 14日 馬路村振動障害対策巡回指導実施検討会(就改センター)
- 14日 中芸地区青少年育成関係機関連絡会(田野町)
- 16日 安芸郡母子、父子家庭クリスマスの集い(就改センター)
- 17日 道徳教育推進委員会(就改センター)
- 18日 馬路村体育会役員会(就改センター)
- 18日 安芸郡市町村中学駅伝競走大会(室戸市)
- 19日 農業委員会(就改センター)
- 21～25日 12月定例村議会
- 26日 教育委員会(就改センター)
- 27日 民生委員会愛のもちつき(就改センター)
- 28日 官庁御用納め

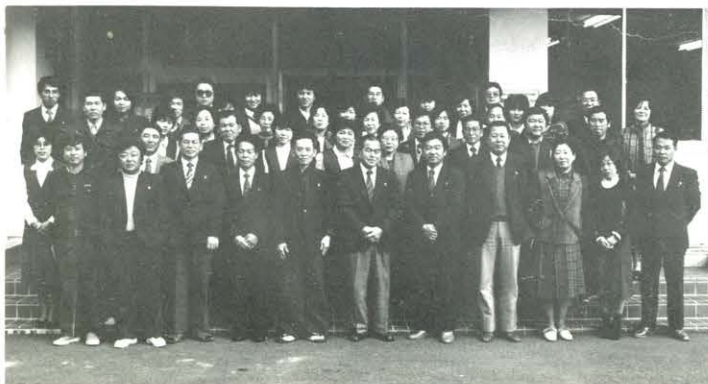
1 月

- 1日 体育始め(馬路・魚梁瀬)
- 1日 馬路村成人式(就改センター)
- 4日 官庁御用始め
- 6日 消防出初式(田野町)
- 10日 馬路婦人会役員会(就改センター)
- 11日 馬路PTA役員会(就改センター)
- 11日 安芸郡町村議会議長会(コミセン)
- 11日 昭和60年新春囲碁大会(魚梁瀬)

賀春

今年も住みやすい村づくり
をめざして職員一丸となって
頑張ります。

馬路村役場職員一同



↑12月16日 郡母子父子家庭クリスマスの集い



↑12月27日 民生委員会愛のもちつき



↑1月1日 馬路地区体育始め



↑1月1日 魚梁瀬地区体育始め



↑1月1日 成人式

昭和60年頭の所感

明るい

村づくりを

馬路村長

小松 千歳

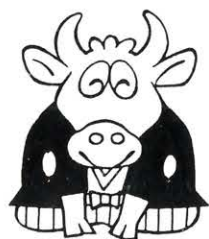


馬路村のみなさん、明けましておめでとうございます。

昭和六十年の年頭にあたり、謹んであいさつ申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、台風などの被害もなく、行財政の運営につきましても、村民のみなさまがたのご協力により比較的順調に過ごすことができました。

私は、昨年の年頭のあいさつで、



私たちの行政が今の時代ばかりでなく、次の世代に生きる人々の生活に深くかかわっていることを念頭に努力すると申しましたが、およびながらもそのように実行してきたと思っております。

しかし、国の行政改革に伴う財政運営の厳しさ、あるいは地域の課題としての国有林運営などの影響による人口の減少対策、魚梁瀬ダムの水利権更新対策、村の産業の掘り起こしなど、新たな課題も生じてきました。

また、村の基幹産業である林業は、木材需要の減退、木材価格の低迷などにより、生産活動が停滞するとともに、木材業界においても著しい業績不振に陥るなど、きわめて厳しい状況が続いています。このような状況の中で新しい年を迎えたわけですが、さきほど述べました課題はもとより、行政として行わなければならない各種対策には、可能なかぎり積極的に取り組みたいと思います。

そのほかに、昭和六十年からは固定資産税の実測課税も行いたいと思います。これは納税義務者の負担がふえることになりましたが、みなさまがたのご協力をお願いし

ます。

新しい執行体制も一月一日から発足し、村職員一丸となりまして、村に住む人々の将来に明るい希望がもてる村づくりをめざして、行財政の運営を行っていく決意であります。

年頭にあたり、みなさまがたのご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

新年の

ごあいさつ

馬路村教育長

岡田 長康



六十年の輝やかしい新春を迎えるに当たり、村民のみなさんのご清福をお祈り申し上げます。

このたび空席となっていた助役に、西野教育長が就任し、その後任として本年一月一日付で、教育長の拝命を受けました。

前西野教育長の卓越した行政手腕の後を受け継ぎ、その職責を果たすには、まことに微力の身でありますので、みなさま方の一層の

ご指導を仰がなくてはなりません。

学校教育現場は過疎化が進み、当然ながら、児童、生徒が年々減少し、現在、四校中三校が複式校のやむなきにいたっております。

この現象は、しばらく続くことも予想され、学校教育を取りまく環境は、まことに厳しいものがあります。

幸いにして本村は、社会教育、社会体育、および文化活動の振興などについては、村民挙げての取り組みがなされており、村おこしの大きな原動力となっております。

新しい年を迎えるに当たり、先輩たちが築いた業績を踏まえ、村民のみなさま方のご意見をたまわりながら、教育行政に携わってまいりたいと思います。

今後とも、学校、家庭、地域社会が一体となったご協力とご支援をお願いし、みなさま方のご健勝とご多幸をお祈りして、新年のごあいさつとします。

助役に西野氏

教育長には

岡田氏が

二十四日に開催された村議会において、空席だった助役に西野真司教育長（48）の選任と、教育委員に岡田長康議事事務局長（50）の任命の各同意が原案可決されま

した。

なお、助役の就任年月日は、昭和六十年一月一日。

また、馬路村教委は、二十六日委員会を開き、教育長に岡田長康氏を互選し、県教委の承認を受け一月一日付で就任しました。十

村職員の

異動



西野 真司 助役

丸山住民課長の死去、岡田議事事務局長の教育長就任に伴う村職員の異動が、一月一日付で次のとおり発表されました。

今後ともよろしく申し上げます。（ ）内は旧職名。

▽住民課長 萩野 轟（魚梁瀬支所長）

▽魚梁瀬支所長 畠中 郁穂（建設課長）

▽産業振興課長兼建設課長 平野 隆志（産業振興課長）

▽議事事務局長 上治 堂司（総務課主事）

くらしと人権

歴史をとおして考える

女性史研究家

もろさわ ようこ

沖縄には、文体的にみると万葉集より古代的な「おもろ草子」というのがあります。それを見ると「おおきみ」としてたたえられていたのは女の人でした。「きみ」は王より位が上でしたので、女の人の託宣を、王はきかなければならなかったのです。

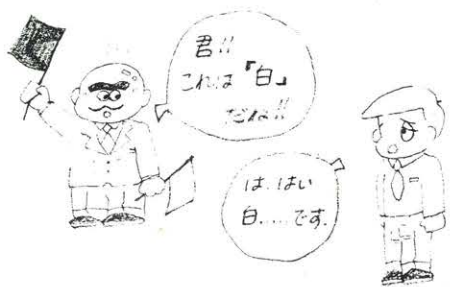
琉球王朝でもそういう状態がつづいていましたが、薩摩に征服さ

れるようになるのは、封建制社会が大きく展開されるようになってからです。それまでの古代社会は宗教的な支配が多分に幅をきかせていました。

この原始共同体から古代社会へと移り変わっていったときに、日本の女たちは少しは没落しましたが、封建制社会ほどではありませんでした。結婚の形も「妻訪い婚」から「婿とり婚」へと変わりました。日本の古代奴隸制社会といわれる時代の結婚の形は「婿とり」なのです。

女の問題がいろいろ言われるなかで、今でも形を変えながらも続いているのが嫁姑の問題です。しかし、女が悪かだから、女がもの見方や考え方が狭いからこの問題が出てきたのではありません。封建制社会になり、女たちが身ひとつで男中心の家族集団へ嫁入りしていく「嫁入り婚」になってから嫁姑問題が出てくるのです。つまり、封建制社会の仕組みと結婚の形によってこの問題はつくりだされたのです。ですから「婿とり婚」の時代には嫁姑問題は発現していません。

支配者が、武力で支配の安泰をはかることは決してできません。武力を突きつけて支配しようとしても、心のなかでは抵抗感を持ち続けるからです。それではどうしたら支配の安泰がはかれるかとい



の眷族なら女から生まれる男もまたマムシのすえだという論理が成り立つわけです。

今の生物学では、男は女からつくられているのです。生物というのは雌がいないと繁殖しません。人間は染色体の違いで女と男の性が分かりますが、性を決めるのは卵子ではなく精子の染色体なのです。責任は男にあるにもかかわらず、女を三人産めば離縁してよいなどと封建時代にはいわれました。男が女からつくられたという理由に男の乳があげられます。女は出産して子どもにお乳を飲ませなければなりません。男にはそんなことはできません。つまり男に乳があるというのは、女になりそこなつたから男になったのです。ですから、男の肋骨から女がつくられたのではなく、女になりそこねたものがしかたなく男になったというのが生物学で指摘されています。

儒教、仏教、キリスト教などで女をあしざまにいうのは、女がそれだけ権力を持っていたから、徹底的に女をやっつけなければならなかったともいえます。裏返せばそれだけ女が強かったということがいえます。

いますと、ものの見方、考え方を支配者側の都合のよいように変えてしまふのです。つまり奴隸を反抗させないようにするためには、主人の考え方に対して「そのとおりです」といつてうなづくように変えてしまうことです。人々の魂を収奪してしまつて奴隸化すればその支配体制は安泰するのです。

旧約聖書に「女よ、マムシのすえよ」とあり、仏教でも「女は六天魔王の眷族(けんぞく)で男の仏道を妨げるために来たるものなり」と説いています。それでは男は女から生まれないで、木の股からでも生まれてきたのでしょうか。女がマムシのすえや六天魔王



封建制社会

れますと、女の人の霊力がきかなかったというところで、王権の下に聞得大君(きこえおおきみ)は位置づけられていきます。そこから、沖縄の女の没落が始まるのですが、日本の本土においても、渡来民族との関係によって、女たちは男に従属させられていったんだろうと思います。

そういう風俗が持ち込まれたときから男の人が父親となつてあらわれ出てきます。女は愛の自然によつて親になりましたが、男が親になったのは「おれのものだぞ」という所有権と「おれの言うことをきけ」という専制支配によるものでした。この父権があらわれるようになると、人間の差別があらわれ出てくるのです。ですから母権の没落は自由と平等と愛と祈りを没落させ、父権の確立によつて「おれの言うことをきかなければおまえを殺すぞ」という武力中心の社会になっていくのです。

日本の場合、結婚の形と社会の仕組み、それに女の生きる状況とが三位一体であることを申しましたが、武力によつて社会が支配さ

(以下、次号へつづく)

高知県教育委員会発行
「人権の道」より

馬路村の歴史と伝説



<六>

金林寺薬師堂

馬路公民館長 山中 巖

金林寺薬師堂(六)



→城山から大門をのぞむ。

金林寺の寺領であった大門地区も
営林事務所や民家になっている。

金林寺は、寺領として、田畑を
どれくらい持ち、年貢(税)はど
れだけ納めていたのでしょうか。
長宗我部(ちようそかべ)地検
帳によると、今から四百年前には、
金林寺は次のような寺領を持って
いました。

田 (大門ノ上) 四十三代
田 (大門ノ上東) 四十代
田 (大門ノ北) 二反十八代二分
田 (ササケサ) 五代
畠 (大門ヒウラ) 三十五代四分
境内地 (大門ノ上) 十代
合計 五反十一代六分

(注) 一町は十反、一反は五十代
一代は六歩、一步は二寸

この単位(注)は、長宗我部氏
の時代から山内藩政期にもひきつ
がれ、明治の地租改正のころまで
使われました。

当時(約四百年前)、馬路の農
家は、一戸当たり平均約三反の田

畑を持っていたと考えられます。
しかし、たいはんは一反以下の小
農家であったと推察され、これか
ら金林寺の寺領が広大であった
ことが理解できると思います。
時代がくたって、山内藩政時代
の末期(約四百年前)には、寺
領はどれくらいになっていたのだ
しょう。

金林寺古文書によると、約五反
あった本田(ほんでん)は、一反
四十代に減り、新しく開拓された
新田(しんでん)が加えられ、合
計二反四十九代、と少なくなっ
ています。この内訳をみてみると、
次のようになっています。

○本田 一反四十三代(このう
ち屋敷が五代)
○村上改によって一代が加えら
れる。
○古堀明として一反
○惣堀明として五代と畑が二歩
合計 二反四十九代

(注) ○本田(ほんでん)
「長宗我部地検帳」に登録さ
れた田、畑、屋敷のことをいい、
本田を持っている百姓が本来の
農民であり、新田百姓とは大き
な差があった。

○村上改(むらかみあらため)
山北村の村上八兵衛に検地を
させたので、この名前が生まれ
た。山内藩最初の新田検地で、

本田なみの貢物を課せられた。
○古堀明(ふるほりあけ)
山内氏入国後に開拓された新
田で、野中兼山のころ(十七世
紀)と考えられ、本田なみのあ
つかいをうけた。
○惣堀明(そうほりあけ)
古堀明について開拓された新
田。

また、これらの田畑にかかる年
貢として、米、一石七斗一升三合
を納めていました。
年貢は、家ごとに門割り(かど
わり)をして、地下(じげ)の者
が支払いをしました。また、寺の
田畑の耕作、取り入れなどは、檀
下から毎年一人は必ず出役をする
のがならわしになっていたのです。
この出役の「まかない」は昼食は、
一度だけ寺がしたくをしました。
なお寺勤めとして、檀家は家ご
とに、米初穂一升、麦初穂一升を、
またお年玉は、八錢(はちぜに)
一匁もしくは白米一升を持参する
ことになっていました。

(注) 金一兩=銀五十匁=錢四貫=
四千文
銀一匁=錢八十文=八錢

金林寺の寺領としての山林は、
現在残っている史料でみるかぎり、
持っていないと考えられます。

馬路診療所に 小野村医師

馬路診療所に、小野村医師
が新たに赴任され、現在診療
にあたっておられます。

先生は、神奈川県生まれ
で現在三十七歳。昭和四十九
年にフイリピンユニオン大学
生物学科、五十三年にマニラ
セントラルユニバーシティー
大学院医学部を卒業され、そ
の後、東京の救世軍ブリス
記念病院や、米国のケンタツ
キー州立大学病院などに勤務
され、このたび馬路診療所に
赴任されました。

「地元の人たちとのふれあ
いを大切にし、地域医療でで
きるだけのことをしたい」と
語る先生は、フルート演奏と
登山が趣味だそうです。



→診療にあたる小野村医師

子どもたちの目

わたしの馬路村

青少年育成馬路村民会議では、村内の小・中学生から「馬路村」についての作文を募集しました。

いま、子どもたちは「馬路村」について、どのように感じ、どんな考え方を持っているのか。また、子ども自身、明るい豊かな地域をつくるため、どのように行動しようとしているのか。その一端が示されているように考えられます。

もし私が

村長さんなら

馬路小六年

小松 まどか



今、私が村長さんになっていたら、まず最初に子どもの遊び場をつくる。

最近はおとしよりのためのゲートボール場がつくられてある。そのために、しんりよう所のうらのあき地が全部ゲートボール場だ。ゲートボール場ができるまえまでは、野球をしたり、ボール遊びをするのにさいこうの場所だった。道で遊ぶのはあぶないからだめ。それじゃあ山で遊ぶのか。山はお墓があったり、きんじよの家の木

があったりで、木をおれば、「こ

らっ、なにしろあ」と、大声でどなられる。今の私たちにとって

はじゅうぶんすぎるかもしれない。でも、広々としたところで遊びたいというねがいだつてあるのだ。

これは、私もふくめて子どもの願いだと思う。

こんどは、村の人も願っているかもしれないことだ。病院をつくること。しんりよう所があるけど、大きな病院でないとできない手術や検査がある。町の方へ行かない

れば大きな病院はないんだから、きゅうきゅう車で運んでいる間に命をおとしてしまうこともきつとあるだろう。だから、すぐ手当でできるように一つ大きな病院をつくりたい。できれば、とても手術などがうまく、やさしい病院の先生をつれてきたい。そうすれば、みんなの病気がけがは、あつというまになおつてしまうのだ。

本当に私が村長さんだったら、少しでも村の人たちが困らないように、なにかをつくったりしたい。実際にはできないだろうけど……。始めに出したことなどをつくりたい。そして、だれでもが村長さんになんでも話せるような人に……。村の中の様子を見たりするために用事のないときは、車でいろいろなところ（村の中）を見て回りたい。そして、村の人たちとたくさん話をしてみたい。それで村の人々の中にとけこんでいきたい。村長さんという役目ははたしていきながら、村の人とかわりない人間でありたい。

祭りなどでよくおどりをおどるけど、村長さんはおどらない。よそからきた人もおどれない。だから、よそからきた人も好きなときに楽しくおどればいい。おどり方なんかは、前の人を見たりしておどったらよい。まちがったつていい。祭りやも、楽しかったらいいのだ。祭りの日にじつとおどりを

見ているなんてつまらん。村長さんもおどらなくとも、とてもにぎやかな祭りになるにちがいない。それと、おどりはいつも音楽を流しているだけで祭りのムードがでない。だから、タイコをドンドン鳴らすのだ。それにあわせてみんながおどるのだ。タイコはぶたいの上でたたいて、そのぶたいの周りを、くるくるまわりながらおどってみたい。こうしてみると、タイコの鳴りびびく音となる子の音、そしてかけ声、げたなどの音で村中がいっぱいになりそう。ドンドン、カランカラン、カタカタという調子だらうな、きつと。これが、私が村長さんになれたらする祭りの計画なのだ。

さいしょに私は、病院をつくりたいと書いた。大きな病院は、どうしても機械やコンピューターがはいってしまい、人と人とのふれあいがなくなってしまう。そして、あたたかみのない、つめたい病院になってくるから、たとえ大きな病院でもぬくもりのある病院にしたい。そんなことを、私のおばあさんやよそのおばさんも話していた。今、ほんとうに世の中は、そうなりつつある。看護婦さんも明るくてやさしい人がいい。わがままなゆめの病院かなあ。でも、ほんとうにこんな病院ができればいいな。

馬路のいいところは、自然がた

くさんあることだ。緑の山、青い川といったように、町にはない自然がいっぱいある。観光客の人たちがくるごとに、「緑がきれいなところやねえ」という声が、いつまでも聞こえるような村でありたい。この美しい自然を守るのには、村の人と馬路へきてくれた観光客の人たちだ。また緑が見たいとおもったら、観光客もちりをボーイふてんでほしい。村の人も私もこの自然を守らないかんけど、そのためにどんなことをしたらいいかはつきりわからん。草引きやちり拾いをしていけるけれど、もっとほかにできることはないのだろうか。



村長さんの

感想を一言

現職の村長かたなしのご意見でまことに恐れいりました。私たちも常に理想と現実の板ばさみの中で仕事をしておりますが、なお前向きの姿勢でやってみようと思います。

私の馬路村

魚梁瀬小五年

藤田真紀



私は、馬路村について、自然も豊富だし空気もいいので、あまり悪くないと思うが、不便なことも多いので、どっちともいえません。私が良いと思うことは、一番は

じめに自然が豊富だということです。まわりは山にかこまれているので紅葉も見られ、時期によって赤や黄、緑などが楽しめます。それに、空気もきれいだということ

ろが、馬路村のじまんできることだと思います。次に、不便だと思うことは、交通のことです。もう少し道を広くしてほしいです。その理由は、車

がきた時、よけにくいからです。だけど、あまり車を通るというわけではないので、町に比べると幸福かなと思っています。

次に、店のことですが、魚梁瀬には四けんしかなく、品物などがないときがあるので、もう一けん魚梁瀬に店がほしいです。だけど、品物を安く買えるということは、とてもうれしいです。

そして、学校の生徒数が、だんだん少なくなっていくのがいやです。だけど、私たちは、人数が少ないだけ損をしていることもありますが、それと同じくらい得をし

ていることも多いのです。プールは広くつかえるし、いろんなけいけんもできます。だけど、やっぱり人数が多いほうが楽しいと思うので、生徒数が少なくなっていくのは困ります。

私の願いは、病院を魚梁瀬につくってほしいということです。魚梁瀬には、しんりよう所があるだけで、きちんとした病院がないからです。もし、病気をしたときにきちんと設備されている病院があれば、安心してくらせると思うからです。

私は、馬路村には、不便なことがたくさんあるし、都会のように店もなく、交通も不便だし、そのほかにもまけることが多いと思うけれど、都会にはまけない自然がたくさんあります。

馬路村は、やっぱり私にとって、すばらしいふるさとだし、大切な場所です。

登校拒否症

学校のことが気になりはじめ、家族の生活とリズムが合いません。自分で教科書をひらいて学習をはじめ。しかし、学校へは登校できない。

このころを第三段階と考えるならば、A君を援助するにはどんな方法があるのでしょうか。私の体験から考えると、学校へ

登校ということは考えず、町民会館、または公民館などへ自分一人で行かせることが大切だと思います。もちろん、教育相談の担当者にお願いをして、そこで図書を読む、さらにすすんで、教科の学習をさせるようにしむけていくことです。

最初は、町民会館へ午後一時から三時頃までとして、午後だけ出るようにします。それができるよ

入選

青少年育成馬路村民会議では、運営委員会において、募集した作文を審査した結果、次のとおり入選者を決定しました。

馬路小学校	
四年	西野 百絵
五年	五味 里加
六年	古田まどか
六年	小松まどか
六年	尾谷 暁
六年	樋口 達也
六年	南 昌子
馬路中学校	
一年	田中佳代子
一年	伊場 靖香
一年	丸山 貴匠
二年	笹岡 昌二
二年	五味 志乃
二年	西野 千晶
三年	山中知佐乃



魚梁瀬小学校	
四年	新居 誠司
四年	井上 貴文
五年	藤田 真紀
五年	湯浅 雅喜
五年	大野 詩保
五年	山崎 理加
六年	酒井 信弥
魚梁瀬中学校	
一年	細川 和彦
一年	大野 安和
二年	萩野 美保
二年	小原 久美
三年	伊吹 卓哉
三年	村瀬 久幸
三年	手島 和広
三年	上総 りさ

うになると、午前の部を加えます。たとえば、午前九時から十一時頃までとし、無理のない時間設定をします。

このように、町民会館を学校がわりにして学習をします。学習内容は、好きな教科、基礎教科を中心とし、体育は近距離散歩からはじめます。

そして、適当な時期をみて、学校（校内には入らない）への散歩

を行います。

その後、本人の状態によって、学校を訪れ、校長先生や担任の先生に会う機会をつくるべきです。

次に、同級生と話し合う機会をつくるべきでしょう。このさいに大切なことは、同級生や在校生が本人を温かく迎えてやる雰囲気です。学校、クラスの全面的援助なしには、A君の登校は絶対にできないのです。



教育相談所だより

22

二月七日は

「北方領土の日」

北方領土は
どこにあるのですか

北方領土とは、北海道の根室沖につらなる歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の四つの島のことをいいます。

北方領土というと、ずいぶん遠い、というイメージを抱く人がいるかもしれませんが、しかし、最も近くにある歯舞群島の貝殻島は、北海道本島からわずか三・七キロ、最も遠くにある択捉島でさえ、約百キロしか離れていません。

伊豆七島の八丈島が本土から約二百キロ離れていることを考えれば、

ば、北方領土は「ずいぶん近い」と言えるでしょう。

これら北方領土の島々は、歴史的にも国際法に照らしてみても紛れもない日本固有の領土です。しかし、終戦以来、ソ連によって不法占拠されてから、すでに四十年という歳月がたつてしまいました。二月七日は「北方領土の日」です。この日を契機に、もう一度この問題について考えてみましょう。

どれくらい日本人が
住んでいたのですか

北方領土の近海は、古くから世界の三大漁場の一つに数えられ、

コンブ、サケ、ホタテ貝、カニ、エビなどの水産資源が豊富です。不法占拠される前までは、ここに七つの村があり、約三千百世帯、一万七千人の日本人が住んでおり、こうした水産資源を糧に生計を立てていました。

しかし、現在は一人の日本人も住んでいないばかりか、北方領土



北方領土返還の
実現に向けて

この「帰らざる故郷」を一日も早く取り戻すには、わたしたち一人ひとりの間からわき起こる世論の高まりが必要です。一人の力は小さくても、それが集まればソ連との交渉を支える強力な力となるでしょう。

わたしたちは、北方領土問題を自らの問題として正しく理解し、返還要求運動の輪を広げていきたいと思います。

庁舎移転のお知らせ

高知地方事務局
安芸支局



高知地方事務局安芸支局は、庁舎の改築のため、仮庁舎において業務を行っていましたが、このほど新庁舎が完成し、本年二月十八日から左記の場所（従前の位置）で業務を行うことになりました。

○新庁舎
安芸市矢ノ丸二丁目一番六号
（安芸地方合同庁舎二階）
☎ 08873 52272

相撲大会のお礼と決算報告

昭和59年度熊野神社奉納相撲大会には村民のみなさまや各種団体などから、多額のご寄付をいただき、ありがとうございます。

次のとおり収支報告をするとともにご協力くださった方々に厚くお礼を申し上げます。
馬路村相撲愛好会

収入の部			単位 円
科目	金額	備考	
一般寄付金	262,800	各種団体および村民からの寄付金	
計	262,800		

支出の部			単位 円
科目	金額	備考	
相撲賞金	207,000	団体および個人賞金	
災害保険	3,312	傷害共済 24人分	
準備費	29,208	消耗品	
手数料	23,280	寄付金徴収手数料	
計	262,800		

馬路地区はし拳大会の 収支決算のお知らせ

第13回馬路地区はし拳大会は、村民のみなさまのご協力を得て、盛大に開催することができました。

本大会の収支について次のとおり報告いたします。
馬路地区はし拳愛好会

収入の部			単位 円
科目	金額	備考	
会費収入	112,500	1,500円×75人	
寄付金収入	110,000		
利子収入	4,125	預金利子	
前期繰越金	118,552	前期大会からの繰越	
計	345,177		

支出の部			単位 円
科目	金額	備考	
入賞者賞金	12,000	個人・団体3位まで	
トロフィー代	100,000	優勝トロフィー	
酒代	58,560		
おでん材料代	20,420		
会議費	10,690		
謝礼	25,000	5,000円×5人	
通信費	4,100	切手代	
消耗品費	8,400		
その他	18,000	額ぶち代外	
計	257,170		

※差し引き88,007円が次期の大会へ繰り越されました。

昭和60年成人式



おめでとう

二十歳の門出

新たに成人となる二十三人の出席者を迎えての昭和六十年馬路村成人式が、一月一日、就業改善センターで催されました。

馬路村では、従前より村内小中学校卒業生全員と村内在住成人を対象としており、今年は昭和三十九年四月二日から四十年四月一日までの出生者三十一人を対象としたものです。

式典は、中村教育委員長の式辞に始まり、小松村長、山崎議長、酒井営林署長の祝辞もあつて、それぞれ成人への門出に対しての暖かい励ましの言葉が贈られました。

また、成人を代表して、四国女子大学に在学中の上総真奈美さんが「自己の人格完成へ努力し、国家社会の繁栄と向上とに協力する真の民主的日本人となるべく最善の努力をつくすことを誓います。」と決意を表しました。

同和教育映画「差別と人権の歴史」を見てからの座談会ではいろいろな意見が出され、その中でも「馬路からはなれていても故郷に引かれる想いがいつもある」と、過疎の村を象徴させる発言などがあり、特微的でした。

最後は全員でジュースでの乾杯をし、成人のよろこびをかみしめました。

終了後は、あちこちで記念写真を写しあう姿が見られ、いつものがらのなごやかな成人式でした。

馬路・魚梁瀬俳句会

梨花

冬芒上手にほうけひたなびき
冬の星母と眺めし日々の窓
事故ありし夜北風の吹き通し

善心

さりげなく暮らせど峠は暦なり
何事もウトくなりたる十二月
冬至湯につかりて老の一人言

喜美栄

高が輪を広げて消えし昼の月
パンジーに埃がたまる師走かな
髪うすくくるみかくせし冬帽子

千鶴子

妖しまで褪せにし庭の実南天
唯一つ売出しの旗十二月

子を送る音のする星冬される

百合子

寒梅の一輪男子誕生す

城跡の伝説ききつ木の実降る

亡夫のせし注連の真似事友とせり

うた子

子どもより母へ年玉泣かされる

年の暮無縁仏の墓掃除

すす払い済ませいくらか落着きぬ

雅子

山眠る落人の里救急車

寒の客でんでんたいこ貰うて去る

鮮やかにあり霜枯の中の菊

眸

涸れ残る水一灯を映しけり

時雨ふるや起重機朱き鉄を吊る

風花の束の間舞いて急かれ居り

麗山子

返り花白し流人のにおいなる

山の神跡の坂なす枯世界

村医去る坂の樺に声かけて

いっしょにおめでとびづいす

ごめい福をお祈りします

父	母	赤ちゃん	続柄	月・日	部落
山中理史	恵理子	理啓	二男	12・24	影

ごめい福をお祈りします

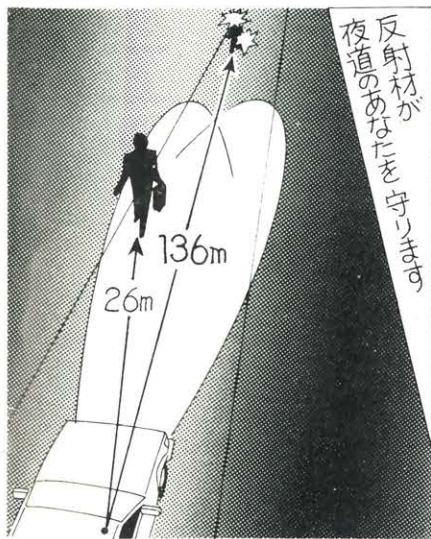
氏名	性別	行年	亡月日	世帯主	続柄	部落
門田 功	男	72	12・27	本人	本人	ヤナセ
岩城 正隆	男	85	12・29	幸茂	父	影
谷井 峰好	女	86	1・3	本人	本人	中ノ川
乾 道子	女	58	1・8	光明	妻	相名



家族で話し合おう

図解

交通安全



反射材が
夜のあなたを守ります

反射材
ピカピカ作戦で
夜の事故を防ごう

歩行者が夜間の交通事故から身を守るためには、どうしたらよいのでしょうか。それは早くドライバーに自分の存在を気づかせることです。しかし、夜は暗いのでちょっと工夫が必要です。その工夫の一つに反射材の利用があります。

夜間走る車は必ずヘッドライトをつけますね。反射材はヘッドライトが当たるとピカッと反射し、歩行者の存在をドライバーに知らせます。

では、どのくらい効果があるかということ、実験では歩行者が反射材をつけていた場合、136メートル離れたところでドライバーは歩行者を見つけます。ところが黒っぽい服の場合は、26メートルまで近づいてやっと発見。反射材のおかげでドライバーは歩行者を早めに発見できるのがよく分かります。

カバンや帽子、カサの先などに反射材を張り、夜の交通事故を防ぎましょう。

大切な文化財を後世に伝えよう

この日を機会に、二度と法隆寺金堂壁画の悲劇を繰り返さないという決意を新たにしたいものです。

のためです。

この日に国民的な財産であった法隆寺金堂の壁画が焼損したこと、そして、ちょうど火災の多いシーズンに当た

たのは、昭和二十四年

のこの日に国民的な財

産であった法隆寺金堂

の壁画が焼損したこと

そして、ちょうど火災

の多いシーズンに当た

たのは、昭和二十四年

のこの日に国民的な財

産であった法隆寺金堂

の壁画が焼損したこと

そして、ちょうど火災

の多いシーズンに当た

たのは、昭和二十四年

のこの日に国民的な財

産であった法隆寺金堂

の壁画が焼損したこと

そして、ちょうど火災

の多いシーズンに当た

たのは、昭和二十四年

のこの日に国民的な財

産であった法隆寺金堂

の壁画が焼損したこと

そして、ちょうど火災

の多いシーズンに当た

たのは、昭和二十四年

のこの日に国民的な財

産であった法隆寺金堂

文化財防火デー
1月26日



村職員募集について

馬路村

馬路村では、「馬路村一般行政職員男子一名」および「馬路村立小中学校に勤務する女子職員一名」（各々補欠若干名）を次のとおり募集します。
ご希望の方は、役場総務課、教育委員会、または魚梁瀬支所まで自筆の履歴書および健康診断書をご提出ください。

▼ 募集要領 ▲

1、応募の条件

(イ) 馬路村に本籍を有するか、村内小中学校を卒業した者および村内に居住する者（採用後、村内に居住することを原則とする。）

(ハ)(ロ) 昭和六十年四月一日現在で満二十五歳未満の者
高校生（昭和六十年三月卒業見込みの者を含む）および高校卒業程度の学力を有する者。

2、採用試験の内容

作文、常識問題（英・数・国・社・理）九十分程度
および面接（口頭試験）

3、申し込み期限——昭和六十年一月三十一日（木）

4、試験の場所——馬路村就業改善センター

5、試験の日時——昭和六十年二月五日（火）午前九時から

6、採用の日——昭和六十年四月一日

7、採用の決定——昭和六十年二月中に本人に直接通知する。

その他

(イ) 学校職員については、当面魚梁瀬小学校給食婦の予定であるが、将来異動もある。

(ロ) 応募者が少数の場合は試験の結果により、採用しない場合もある。